

**NSG**

**GROUP**

# NSG グループ

## 2022年3月期 第2四半期決算報告

(2021年4月1日～ 2021年9月30日)

日本板硝子株式会社  
2021年11月11日

# 森 重樹

代表執行役社長兼CEO

# 楠瀬 玲子

執行役常務 CFO

# 目次

1. 2022年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2022年3月期 業績予想について
3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の進捗
4. サステナビリティの推進
5. まとめ

# 1. 2022年3月期 第2四半期 決算概要

# 連結損益計算書

自動車用ガラス事業の不調を建築用ガラス事業、高機能ガラス事業の好調がカバー。  
 原燃材料費高騰の影響も値上げ、コスト削減で吸収、黒字を継続し、上半期業績予想を上回る

(億円)	7-9月期 (3か月)			累計 (6か月)			上期業績 予想
	2021年 3月期	2022年 3月期	差異	2021年 3月期	2022年 3月期	差異	
売上高	1,296	<b>1,430</b>	134	2,215	<b>2,907</b>	692	2,800
営業利益	38	<b>55</b>	17	32	<b>127</b>	95	120
営業利益率	2.9%	<b>3.9%</b>	+1.0pt	1.4%	<b>4.4%</b>	+3.0pt	4.3%
個別開示項目(COVID-19関連)	△ 13	-	13	△ 128	-	128	-
COVID-19関連個別開示項目後 営業利益 (△損失)	25	<b>55</b>	30	△ 96	<b>127</b>	223	120
個別開示項目(その他)	△ 8	<b>47</b>	55	△ 8	<b>45</b>	53	50
個別開示項目後営業利益 (△損失)	17	<b>102</b>	85	△ 104	<b>172</b>	276	170
金融費用(純額)	△ 30	△ <b>29</b>	1	△ 54	△ <b>58</b>	△ 4	△ 60
持分法による投資損益	2	<b>19</b>	17	△ 2	<b>33</b>	35	20
税引前利益 (△損失)	△ 11	<b>92</b>	103	△ 160	<b>147</b>	307	130
当期利益 (△損失)	△ 7	<b>67</b>	74	△ 172	<b>96</b>	268	90
純利益 (△損失) *	△ 9	<b>61</b>	70	△ 173	<b>86</b>	259	80
EBITDA	127	<b>146</b>	20	188	<b>311</b>	123	

自動車用ガラス事業の7-9月期は減収だが、建築用ガラス事業、高機能ガラス事業は大幅増収を継続。グループ全体で営業黒字を継続し、上期業績予想を上回る

【売上高(事業別)：前年比】

	Q2	累計
建築用	+25%	+33%
自動車用	△ 4%	+28%
高機能	+23%	+32%
<b>グループ全体</b>	<b>+10%</b>	<b>+31%</b>

バッテリーセパレーター事業  
譲渡益等

ブラジル等持分法適用会社  
の業績回復

# 個別開示項目

## バッテリーセパレーター事業譲渡に伴う利益を計上

(億円)	2021年3月期 4-9月期	2022年3月期 4-9月期
<b>新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連*</b>	△ 128	-
政府支援による収益	21	-
設備休止等に係る費用	△ 149	-
<b>リストラクチャリング費用</b>	△ 10	△ 1
<b>事業の譲渡による利益</b>	-	44
<b>子会社及びジョイントベンチャーの売却による利益</b>	6	-
<b>新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連 政府支援による収益</b>	-	4
<b>その他</b>	△ 4	△ 2
<b>個別開示項目 純額</b>	△ 136	45

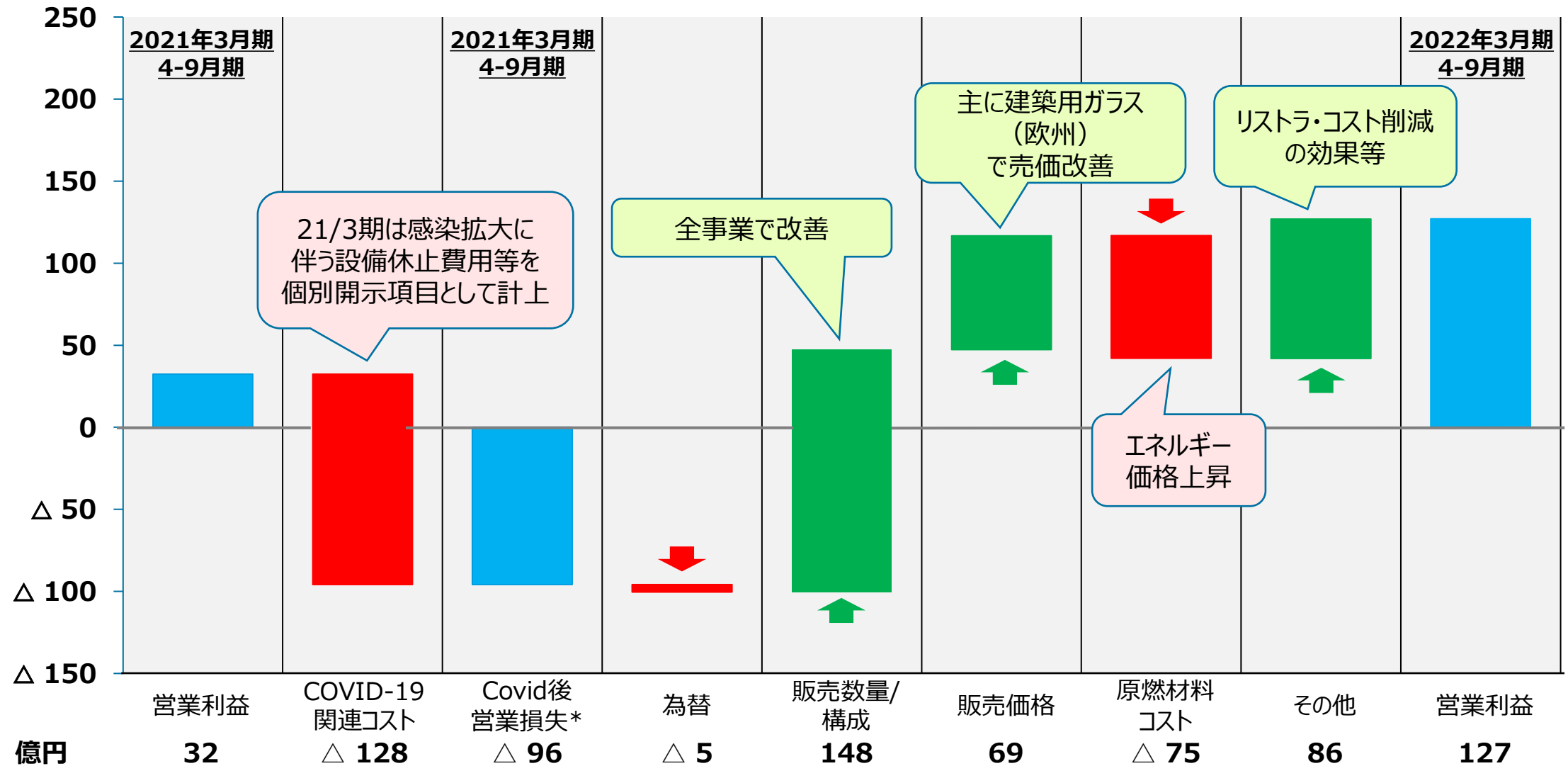
バッテリーセパレーター事業  
譲渡益

新型コロナウイルス感染症  
(COVID-19)関連の損益  
は、本年度は通常の個別  
開示項目に計上

\* 2021/3期は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のまん延により影響を受ける直接費と回収不能な事業運営コスト、及びそれに関連して政府により支給される補助金を個別開示項目として計上。これらにはCOVID-19により生産活動に従事できない従業員への給与支払や休止設備の維持費用、施設の安全な作業環境整備のために生じた清掃費用などの直接費用を含む。

# 営業利益差異分析 (上期累計)

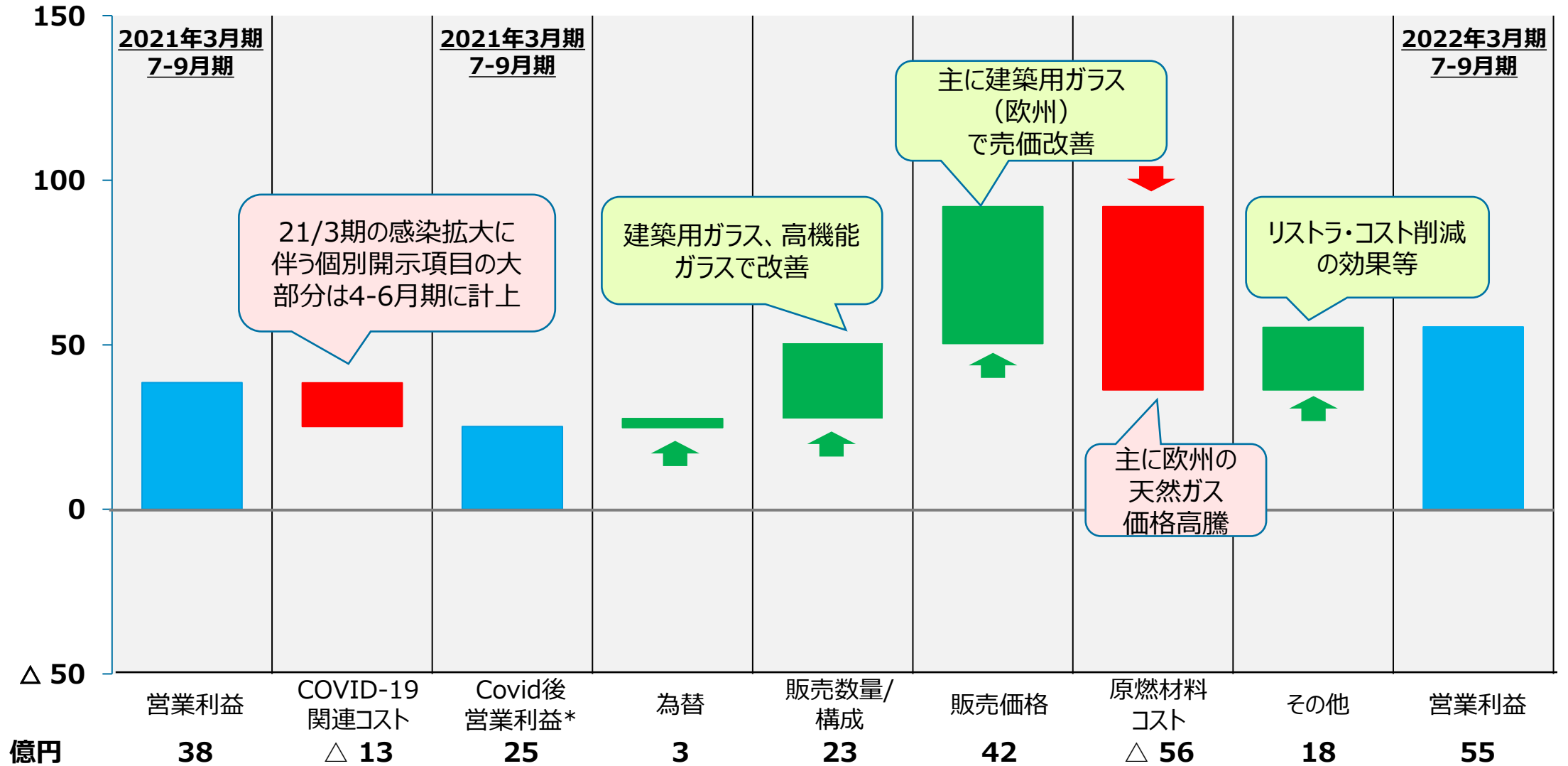
需要の回復に加え、価格改善、コスト削減により原燃材料コスト増加を吸収し、大幅に改善





# 営業利益差異分析 (7-9月期)

原燃材料コスト増加圧力が強まるも、引続き価格改善、コスト削減により吸収し、改善



# 連結貸借対照表

純利益の計上等により自己資本比率が改善、10%超まで回復

(億円)	2021年 3月末	2021年 9月末	増減	
<b>資産合計</b>	<b>8,250</b>	<b>8,292</b>	<b>42</b>	
非流動資産	5,750	5,838	88	デリバティブ金融資産の増加
流動資産	2,500	2,454	△ 46	
<b>負債合計</b>	<b>7,452</b>	<b>7,236</b>	<b>△ 216</b>	
流動負債	2,878	2,952	74	長期借入金から1年以内借入金にシフト
非流動負債	4,574	4,284	△ 290	買掛債務および引当金減少
<b>資本合計</b>	<b>798</b>	<b>1,056</b>	<b>258</b>	
親会社の所有者に帰属する持分	629	865	236	純利益の計上、エネルギーヘッジの評価益により改善、自己資本比率10%超まで回復
<b>自己資本比率 (%)</b>	<b>7.6%</b>	<b>10.4%</b>	<b>2.8pt</b>	
<b>ネット借入</b>	<b>4,117</b>	<b>4,032</b>	<b>△ 85</b>	デリバティブ金融資産の増加

# 連結キャッシュ・フロー計算書

利益改善、キャッシュ管理活動の継続に加え、事業譲渡収入もあり、累計のフリー・キャッシュ・フローは前年同期から大きく改善。通期でのプラスを目指し、順調に進捗

(億円)	7-9月期 (3か月)			累計 (6か月)		
	2021年 3月期	2022年 3月期	差異	2021年 3月期	2022年 3月期	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	228	152	△ 76	△ 78	145	222
(うち、運転資本の増減)	155	33	△ 122	△ 66	△ 87	△ 21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 103	△ 70	33	△ 264	△ 159	106
(うち、有形固定資産の取得)	△ 95	△ 120	△ 25	△ 227	△ 203	24
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>125</b>	<b>82</b>	<b>△ 43</b>	<b>△ 342</b>	<b>△ 14</b>	<b>328</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 90	△ 87	3	309	△ 119	△ 428
現金及び現金同等物の増減	35	△ 5	△ 40	△ 33	△ 132	△ 100
現金及び現金同等物 期末残高				375	407	33

利益改善や  
キャッシュ管理の  
徹底により、  
前年同期から  
大幅に改善

自動車用ガラス  
事業で棚卸資産  
増加

バッテリー  
セパレーター  
事業譲渡収入  
(62億円)

前年同期から  
大幅に改善

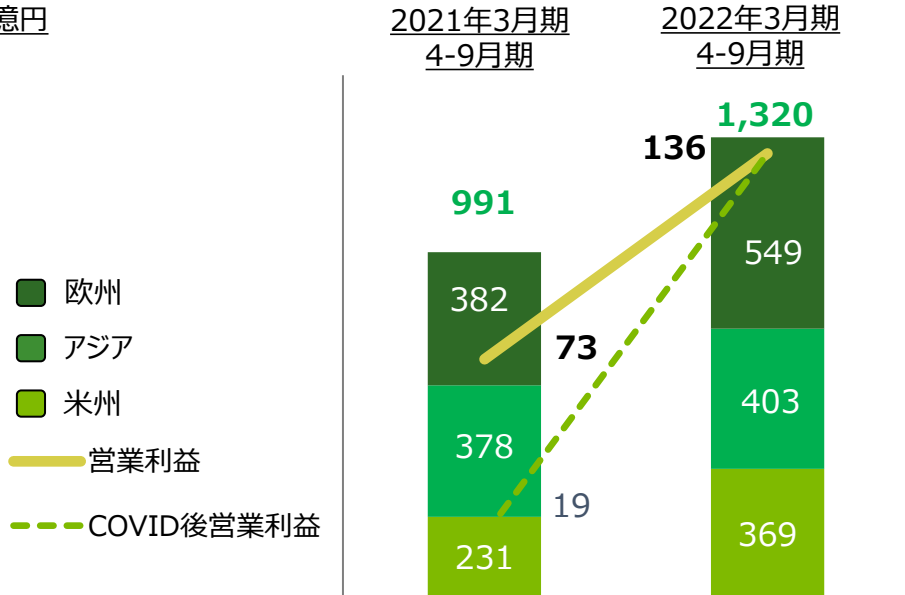
# セグメント情報

(億円)	2020年3月期 4-9月期			2021年3月期 4-9月期				2022年3月期 4-9月期			前年同期比	
	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	COVID後 営業利益*	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
<b>建築用ガラス事業</b>	<b>1,197</b>	<b>41%</b>	<b>98</b>	<b>991</b>	<b>45%</b>	<b>73</b>	<b>19</b>	<b>1,320</b>	<b>46%</b>	<b>136</b>	<b>329</b>	<b>64</b>
欧州	453	16%		382	17%			549	19%		167	
アジア	470	16%		378	17%			403	14%		24	
米州	274	9%		231	10%			369	13%		138	
<b>自動車用ガラス事業</b>	<b>1,482</b>	<b>52%</b>	<b>52</b>	<b>1,053</b>	<b>48%</b>	<b>△ 24</b>	<b>△ 99</b>	<b>1,352</b>	<b>47%</b>	<b>△ 11</b>	<b>299</b>	<b>13</b>
欧州	629	22%		433	20%			591	20%		158	
アジア	346	12%		258	12%			280	10%		22	
米州	507	18%		362	16%			482	17%		119	
<b>高機能ガラス事業</b>	<b>202</b>	<b>7%</b>	<b>35</b>	<b>165</b>	<b>7%</b>	<b>25</b>	<b>22</b>	<b>217</b>	<b>7%</b>	<b>57</b>	<b>52</b>	<b>32</b>
欧州	35	1%		27	1%			39	1%		12	
アジア	159	6%		133	6%			172	6%		39	
米州	8	0%		5	0%			6	0%		1	
<b>その他</b>	<b>5</b>	<b>0%</b>	<b>△ 36</b>	<b>6</b>	<b>0%</b>	<b>△ 42</b>	<b>△ 38</b>	<b>18</b>	<b>0%</b>	<b>△ 56</b>	<b>12</b>	<b>△ 15</b>
<b>合計</b>	<b>2,886</b>	<b>100%</b>	<b>149</b>	<b>2,215</b>	<b>100%</b>	<b>32</b>	<b>△ 96</b>	<b>2,907</b>	<b>100%</b>	<b>127</b>	<b>692</b>	<b>95</b>

# 建築用ガラス事業 (累計：増収・増益 7-9月期：増収・増益)

欧州の好調が継続、アジア・米州で大幅に売上回復  
エネルギーコスト上昇の影響を受けるも営業利益は大きく改善し、2020/3期実績を上回る

億円



## 欧州 (累計：増収・増益 7-9月期：増収・増益)

- 供給能力を上回る需要により販売数量および価格が上昇
- 原燃材料・輸送コスト上昇の影響を、安定した操業とコスト削減努力で軽減

## アジア (累計：増収・増益 7-9月期：増収・増益)

- 日本の販売数量および価格も回復の兆し、日本以外では好調を維持
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調

## 米州 (累計：増収・増益 7-9月期：増収・増益)

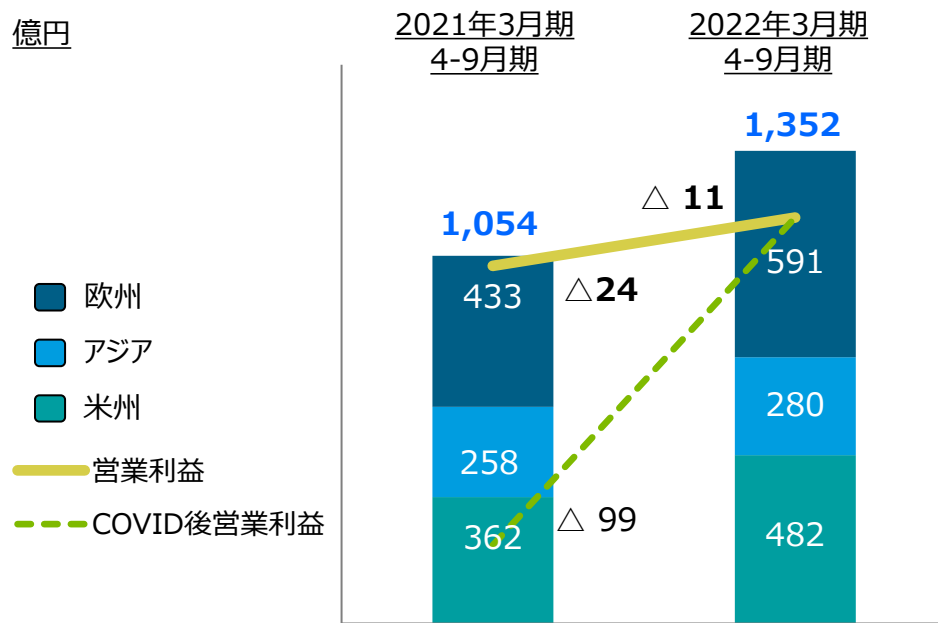
- 北米は、フロート窯の定期修繕と輸送コンテナ不足により出荷に多少の制約があるも、販売数量は増加
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調
- 南米は強い需要が継続

	累計(6か月)		7-9月期(3か月)		累計(6か月)		
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	差異	2021年3月期	2022年3月期	差異
売上高	1,197	542	675	133	991	1,320	329
欧州	453	222	271	49	382	549	167
アジア	470	186	210	24	378	403	24
米州	274	134	195	61	231	369	138
営業利益	98	46	75	29	73	136	64
COVID後営業利益*	98	41	75	34	19	136	117

# 自動車用ガラス事業 (累計：増収・増益 7-9月期：減収・減益) NSG GROUP

7-9月期は部品不足による自動車生産制約の影響を受け減収減益となるも、累計ではCOVID-19影響を大きく受けた前年同期から大幅に改善

億円



欧州 (累計：増収・減益 7-9月期：増収・減益)

アジア (累計：増収・増益 7-9月期：減収・減益)

米州 (累計：増収・増益 7-9月期：減収・減益)

- 7-9月期は、半導体等自動車部品不足による自動車生産の制約の影響を受け、日本を含むアジア、北米で販売数量が大幅に減少
- 累計では、COVID-19の影響により前年4-5月に広範なロックダウンが実行された欧州・北米で特に回復が大きい
- 原燃料コスト高騰の影響もあり、7-9月期は全地域で減益だが、累計では、全体として増益を維持

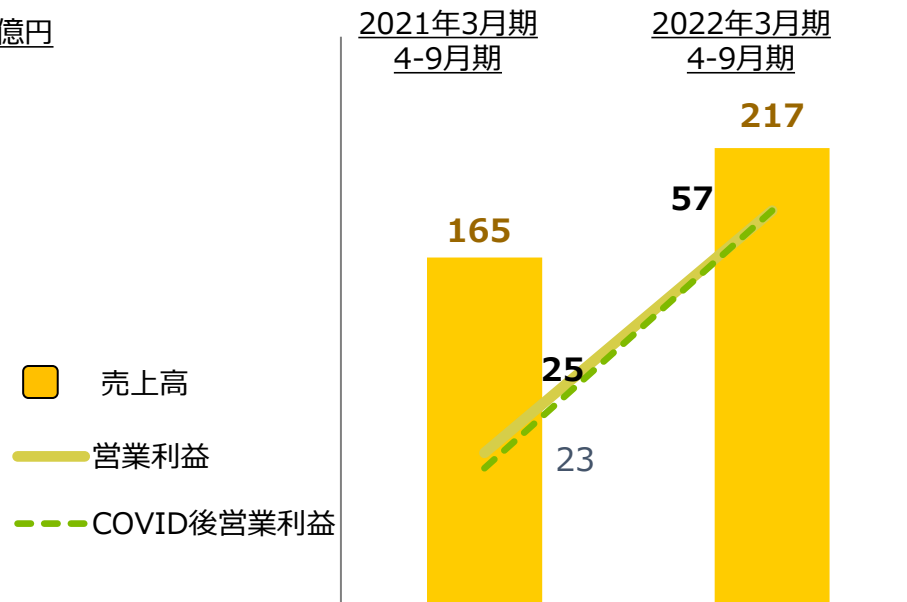
	累計(6か月)		7-9月期(3か月)				累計(6か月)	
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	差異	2021年3月期	2022年3月期	差異	
売上高	1,482	666	643	△ 23	1,053	1,352	299	
欧州	629	267	279	12	433	591	158	
アジア	346	159	129	△ 30	258	280	22	
米州	507	240	236	△ 5	362	482	119	
営業利益	52	5	△ 23	△ 28	△ 24	△ 11	13	
COVID後営業利益*	52	△ 6	△ 23	△ 17	△ 99	△ 11	88	

# 高機能ガラス事業

(累計：増収・増益 7-9月期：増収・増益)

COVID-19の影響があった前年同期からの事業環境改善が継続、2020/3期実績との比較でも大幅に増収増益

億円



## 高機能ガラス事業

- ファインガラスは、継続的なコスト削減による事業基盤の強化や売上構成の改善により業績は改善
- プリンター用レンズは、在宅勤務、オンライン授業向けにプリンター需要が引き続き増加
- グラスコードは中国を中心に需要が堅調。メタシャイン® は化粧品向け市場で需要回復の兆し
- バッテリーセパレーターの業績は安定的に推移  
(バッテリーセパレーター事業の譲渡は9月1日に完了)

	累計(6か月)		7-9月期(3か月)		累計(6か月)		
	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	差異	2021年 3月期	2022年 3月期	差異
売上高	202	84	103	19	165	217	52
営業利益	35	11	29	17	25	57	32
COVID後営業利益*	35	11	29	17	23	57	34

## 2. 2022年3月期 業績予想について



# 2022年3月期業績予想の前提

<b>グループ</b>	<p><b>上期実績は前回上方修正した予想を上回るも、通期業績予想は変更なし</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高騰したエネルギー価格等による投入コスト増の影響を引き続き大きく受ける見通し</li> <li>● 自動車用ガラス事業等不透明な事業環境を踏まえ、通期業績予想は据え置き</li> <li>● 継続的なコスト削減の効果もあり、全事業で増収増益の想定は変わらず</li> </ul>
<b>建築用ガラス</b>	<p><b>欧州を中心にエネルギー価格高騰の影響を受けるが、良好な需給環境が継続</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 欧州：天然ガス価格の高騰の影響を受けるが、需給引き締まりを受けた価格上昇で吸収</li> <li>● アジア：日本の数量および価格も回復基調にあり、好調継続</li> <li>● 北米：経済活動再開に伴い域内市場は引き続き好調</li> <li>● 南米：タイトな需給環境が継続</li> <li>● 太陽電池パネル用ガラス：数量増加を見込む</li> </ul>
<b>自動車用ガラス</b>	<p><b>自動車需要は堅調だが、半導体等部品不足の影響を受ける想定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 全地域で自動車需要と在庫逼迫感は一層強まるが、半導体等部品不足の解消タイミングに関しては不透明感が継続</li> <li>● 追加コスト削減により、通期黒字化を目指す</li> </ul>
<b>高機能ガラス</b>	<p><b>全体として事業環境の改善が継続</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ファインガラスは、売上構成の改善と継続的なコスト削減が貢献</li> <li>● プリンター用レンズは当面在宅勤務による需要増加の恩恵が続く</li> </ul>

# 2022年3月期通期業績予想

上期実績は前回上方修正した予想を上回るも、通期業績予想は変更なし

(億円)	2022年3月期 上期予想 (前回)	2022年3月期 上期実績	2022年3月期 通期予想 (変更なし)	2021年3月期 通期実績
売上高	2,800	<b>2,907</b>	<b>5,600</b>	4,992
営業利益	120	<b>127</b>	<b>240</b>	131
COVID関連個別開示項目後 営業利益	120	<b>127</b>	<b>240</b>	△ 30
個別開示項目 (その他)	50	<b>45</b>	<b>50</b>	△ 53
個別開示項目後営業利益 営業利益	170	<b>172</b>	<b>290</b>	△ 83
金融費用 (純額)	△ 60	△ <b>58</b>	△ <b>130</b>	△ 110
持分法による投資損益	20	<b>33</b>	<b>30</b>	21
税引前利益	130	<b>147</b>	<b>190</b>	△ 172
当期利益	90	<b>96</b>	<b>120</b>	△ 163
純利益*	80	<b>86</b>	<b>100</b>	△ 169

### 3. リバイバル計画24（RP24）に基づく 構造改革施策の進捗

# リバイバル計画24 (RP24) 構造改革施策の進捗

RP24に基づき、持続的な成長が可能な事業体質を目指して主要施策を実行中

## 3つの 改革

### コスト構造改革

- ・ 人員削減：欧米の自動車用ガラス事業を中心に拠点、製造ラインを統廃合、22/3期累計で500人超を削減（20/3期比58億円削減）、21/3期と合わせて2,000人超の削減（22/3期末までに同130億円削減の見込み）（退職コストは21/3期に引当済）
- ・ コスト削減：「改革・革新」活動を通じた直接費低減を推進中、これまで23億円削減し、期末までに43億円削減の見込み。カナダの事業所に蓄電システムを設置し、電力消費量とCO2排出量を削減
- ・ 自動車用ガラス事業における約50億円の追加コスト削減を開始

### 事業構造改革

- ・ 米国、ベトナム 太陽電池パネル用ガラスが収益寄与と同時にCO2削減による地球環境の保護に貢献
- ・ アルゼンチン新フロート窯建設は、23/3期の早い段階で本格稼働開始を目指す
- ・ BIPV（建材一体型太陽電池パネル）、抗ウイルスガラス等オンラインコーティング技術を活用した新製品の供給や、プリンターレンズのオフィス用プリンターへの適用拡大、グラスコードの産業用機械、ロボットへの適用拡大
- ・ クリエイティブ・テクノロジー事業開発統括部を新設
- ・ 水素燃焼や透明な窓用太陽光発電パネルの実証実験等、カーボンニュートラルを目指した取り組み



透明な窓用太陽光発電パネルの実証実験

### 企業風土改革

- ・ 「インクルージョン&ダイバーシティ (I&D)」への取り組みをグローバルで強化、女性管理職比率上昇、若年層活性化を目指す
- ・ RP24の目標を達成するために必要な人材アジェンダを特定し、目指すべきゴールを定量化、人材戦略を構築

## 2つの 重点施策

### 財務基盤の回復 (2022年3月期 4-9月期実績)

- ・ 黒字を継続。純損益は前年同期から約260億円の大規模改善、自己資本比率も10%超まで回復
- ・ 2021年9月末現預金残高434億円、未使用融資枠780億円

### 高収益事業へのポートフォリオ転換

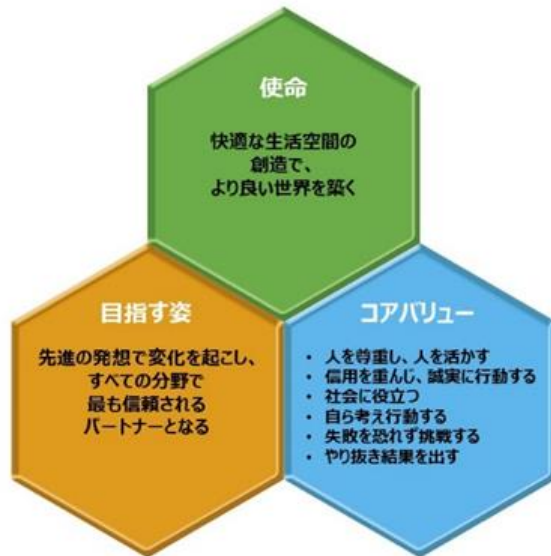
- ・ バッテリーセパレーター事業譲渡：9月1日完了

## 4. サステナビリティの推進

# サステナビリティの推進

経営指針「Our Vision」、それに基づく「重要課題 (マテリアリティ)」への対処として、TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures : 気候関連財務情報開示タスクフォース) 賛同表明。改訂コーポレートガバナンス・コードにも対応し、東証プライム市場へ移行

## 「Our Vision」と「重要課題 (マテリアリティ)」



使命/目指す姿を実現するため
環境
社会シフト・イノベーション
安全で高品質な製品・サービス
倫理・法令遵守
人材

## 当社の取り組み (TCFD、改訂コーポレートガバナンス・コード)

### 環境 (サステナビリティを巡る課題への取り組み)

- ・SBTi (Science Based Targets initiative) 認定、CDP 開示に加え、TCFD賛同表明、TCFDコンソーシアム入会 (本日付ニュースリリースご参照)
- ・サステナビリティ基本方針策定

### 社会 (企業の中核人材の多様性確保)

- ・「インクルージョン&ダイバーシティ (I&D)」への取り組みをグローバルで強化

### ガバナンス (取締役会の機能発揮)

- ・改訂コーポレートガバナンス・コードが要請する「会社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を促し、収益力・資本効率等の改善を図る」取締役会
- ・①独立社外取締役を過半数選任、②取締役会の多様性確保、③取締役スキルマトリックス作成、④指名委員会、報酬委員会設置

## 東証プライム市場への移行

- ・改訂コーポレートガバナンス・コードに対応 (12月までに報告書提出予定)

## 5. まとめ

# まとめ

## 1. 2022年3月期 第2四半期決算

- 第1四半期にCOVID-19の影響を大きく受けた前年同期から、大きく増収増益
- 原燃材料費高騰の影響を受けるも値上げ、コスト削減で吸収、黒字を継続し、上半期業績予想を上回る
- 好調な事業業績等により自己資本、キャッシュ・フローも改善

## 2. 2022年3月期 通期業績予想

- 上期実績は業績予想を上回るも、不透明な事業環境を踏まえ、通期業績予想は変更なし
- 高騰したエネルギー価格等による投入コスト増加の影響を引き続き大きく受ける見通し
- 自動車用ガラス事業は半導体等部品不足の影響を受けるも、追加コスト削減により通期黒字化を目指す

## 3. RP24に基づく構造改革施策の進捗

- コスト構造改革: 人員削減およびコスト削減が進捗、自動車用ガラス事業で追加コスト削減開始
- 事業構造改革: 米国、ベトナム 太陽電池パネル用ガラスが収益寄与と同時にCO2削減に貢献  
アルゼンチンにおける新フロート窯建設は、23/3期の早い段階で本格稼働を目指す
- 事業ポートフォリオ変革: バッテリーセパレーター事業譲渡は9月1日に完了

## 4. サステナビリティへの推進

- TCFD賛同表明済み
- 改訂コーポレートガバナンス・コードにも対応し、東証プライム市場移行へ



# ご注意

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境及び競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市場環境、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社

# 補足資料

- 連結損益計算書（四半期別）
- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- 四半期別セグメント情報
- 地域別業績
- 為替レート・為替感応度
- 減価償却費・資本的支出・研究開発費
- 2021年5月～2021年10月 主なニュースリリース

# 連結損益計算書

## 四半期別推移

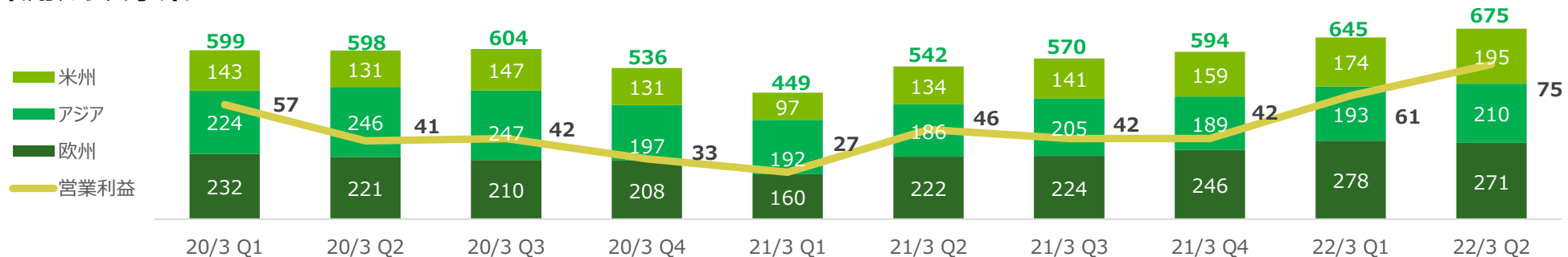
(億円)	2020年 3月期				2021年 3月期				2022年 3月期	
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期
売上高	1,471	1,415	1,372	1,304	919	1,296	1,359	1,418	1,477	1,430
営業利益(△損失)	88	61	31	32	△ 6	38	48	51	72	55
営業利益率	6.0%	4.3%	2.3%	2.5%	—	2.9%	3.5%	3.6%	4.9%	3.9%
個別開示項目(COVID-19関連)	—	—	—	△22	△ 115	△ 13	△ 12	△ 21	—	—
COVID-19関連個別開示項目後 営業利益 (△損失)	88	61	31	10	△ 121	25	36	30	72	55
個別開示項目(その他)	△6	△16	△22	△174	0	△ 8	10	△ 55	△ 2	47
個別開示項目後営業利益 (△損失)	82	45	9	△164	△ 121	17	46	△ 25	70	102
金融費用(純額)	△35	△28	△32	△23	△ 24	△ 30	△ 21	△ 35	△ 30	△ 29
持分法による投資損益	5	3	4	△1	△ 4	2	10	13	15	19
税引前利益 (△損失)	52	20	△19	△188	△ 149	△ 11	35	△ 47	55	92
当期利益 (△損失)	31	△7	△5	△194	△ 165	△ 7	37	△ 28	29	67
純利益 (△損失) *	29	△10	△7	△201	△ 164	△ 9	34	△ 30	25	61
EBITDA	175	142	115	118	61	127	135	145	165	146

\*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

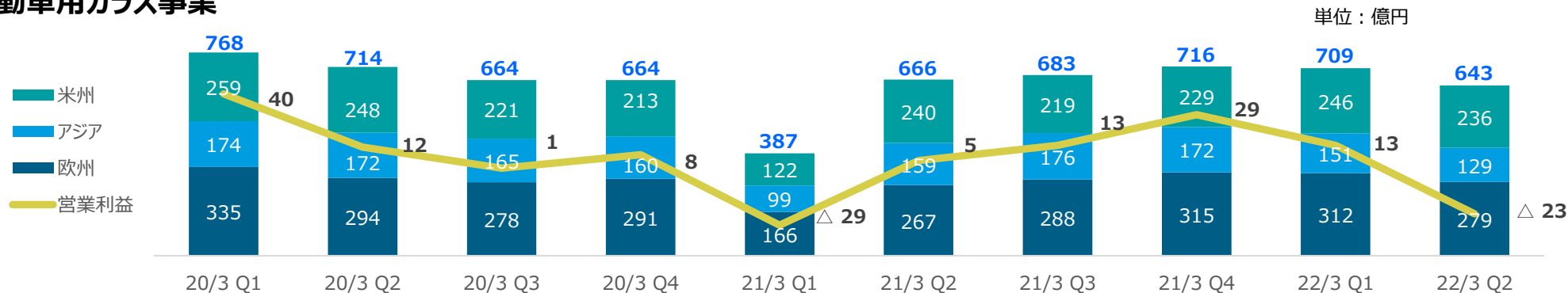
# 事業部門別・地域別売上高及び営業利益 四半期別推移

単位：億円

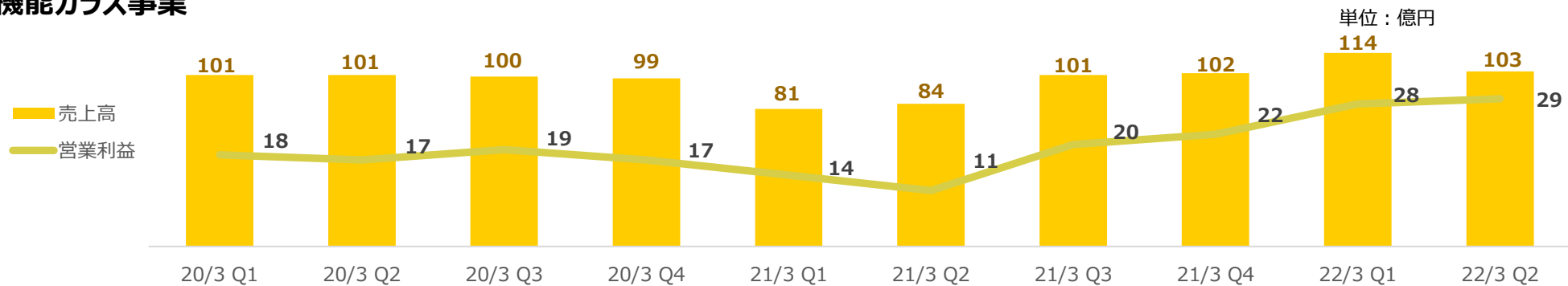
## 建築用ガラス事業



## 自動車用ガラス事業



## 高機能ガラス事業



# セグメント情報

(億円)	2020年 3月期					2021年 3月期					2022年 3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	累計
売上高: 建築用ガラス	599	598	604	536	2,337	449	542	570	594	2,155	645	675	1,320
欧州	232	221	210	208	871	160	222	224	246	852	278	271	549
アジア	224	246	247	197	914	192	186	205	189	772	193	210	403
米州	143	131	147	131	552	97	134	141	159	531	174	195	369
営業利益	57	41	42	33	173	27	46	42	42	157	61	75	136
COVID後営業利益*	-	-	-	27	167	△ 22	41	38	34	91	-	-	-
売上高:自動車用ガラス	768	714	664	664	2,810	387	666	683	716	2,452	709	643	1,352
欧州	335	294	278	291	1,198	166	267	288	315	1,036	312	279	591
アジア	174	172	165	160	671	99	159	176	172	606	151	129	280
米州	259	248	221	213	941	122	240	219	229	810	246	236	482
営業利益	40	12	1	8	61	△ 29	5	13	29	18	13	△ 23	△ 11
COVID後営業利益*	-	-	-	△ 6	47	△ 93	△ 6	4	17	△ 78	-	-	-
売上高:高機能ガラス	101	101	100	99	401	81	84	101	102	368	114	103	217
欧州	17	18	16	20	71	13	14	19	18	64	21	18	39
アジア	80	79	81	77	317	65	68	79	81	293	90	82	172
米州	4	4	3	2	13	3	2	3	3	11	3	3	6
営業利益	18	17	19	17	71	14	11	20	22	67	28	29	57
COVID後営業利益*	-	-	-	16	70	12	10	21	22	65	-	-	-
売上高:その他	3	2	4	5	14	2	4	5	6	17	9	8	18
営業利益	△ 27	△ 9	△ 31	△ 26	△ 93	△ 18	△ 24	△ 27	△ 42	△ 111	△ 31	△ 25	△ 56
COVID後営業利益*	-	-	-	△ 27	△ 94	△ 18	△ 20	△ 27	△ 43	△ 108	-	-	-
売上高:合計	1,471	1,415	1,372	1,304	5,562	919	1,296	1,359	1,418	4,992	1,477	1,430	2,907
営業利益	88	61	31	32	212	△ 6	38	48	51	131	72	55	127
COVID後営業利益*	-	-	-	10	190	△ 121	25	36	30	△ 30	-	-	-

# 地域別売上高及び営業利益

(億円)	2021年3月期 4-9期			2022年3月期 4-9期			増減	
	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	営業利益 (△損失)
欧州	842	38%	8	1,179	41%	28	337	20
アジア	769	35%	36	854	29%	97	86	61
米州	598	27%	29	857	29%	57	259	28
その他 *	6	0%	△ 41	18	1%	△ 56	12	△ 15
合計	2,215	100%	32	2,907	100%	127	692	95

\* 「その他」セグメントの売上高、営業利益は地域別に区分していない。

# 為替レート

## 期中平均レート

	2020年 3月期				2021年 3月期				2022年 3月期	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
英ポンド	141	137	138	138	133	135	136	139	153	152
ユーロ	124	121	121	121	118	121	123	124	132	131
米ドル	109	109	109	109	107	106	106	106	109	109
ブラジル・リアル	28.0	27.6	27.2	26.4	19.9	19.8	19.7	19.7	20.6	20.8
アルゼンチン・ペソ	4.70	超インフレ会計の適用により、期末レートのみ使用								

## 期末レート

	2020年 3月期				2021年 3月期				2022年 3月期	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
英ポンド	137	133	144	133	132	135	141	152	153	150
ユーロ	123	118	122	119	121	124	127	130	132	129
米ドル	108	108	109	108	107	105	103	111	111	112
ブラジル・リアル	28.3	26.0	27.1	20.8	19.9	18.7	19.8	19.1	22.3	20.6
アルゼンチン・ペソ	2.53	1.88	1.82	1.68	1.53	1.38	1.22	1.20	1.16	1.13

## 為替感応度

他の前提に変動がない条件で、  
為替レートが他の通貨に対して  
1%円高になった場合の影響額

	2021年 3月期
資本	31.0億円の減少
当期損失	1.0億円の改善

# 減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2021年3月期 4-9月期	2022年3月期 4-9月期	2022年3月期 見通し
<b>減価償却費</b>	<b>174</b>	<b>184</b>	<b>350</b>
<b>資本的支出</b>	<b>175</b>	<b>102</b>	<b>290</b>
通常投資	54	93	
戦略投資、他	121	9	
<b>研究開発費</b>	<b>44</b>	<b>41</b>	<b>90</b>
建築用ガラス事業	12	12	
自動車用ガラス事業	12	12	
高機能ガラス事業	4	5	
その他	16	12	



# 2021年5月～10月 主なニュースリリース

(<https://www.nsg.co.jp/ja-jp/media>)

2021年5月18日	第10回化粧品産業技術展への出展のお知らせ
2021年5月29日	人とくるまのテクノロジー展2021 ONLINEへの出展のお知らせ
2021年6月24日	光ファイバーと同径の極細セルフホック®マイクロレンズの開発に成功
2021年6月28日	ゾルーゲル法コーティングによる抗菌・抗ウイルスガラス「NSG Purity™」を生産開始予定
2021年7月13日	コーポレートガバナンスに関する報告書を更新・開示しました
2021年7月29日	国内建築用板ガラス製品の価格改定について
2021年8月2日	世界初のフル拡張現実ヘッドアップディスプレイ対応ガラスがメルセデス・ベンツ社のフラッグシップモデルに採用
2021年8月31日	ESG指数「FTSE Blossom Japan Index」構成銘柄に初選定
2021年9月1日	ゼロエネルギー実現に貢献する透明な窓用太陽光発電パネルの実証実験の開始について
2021年9月1日	(開示事項の経過) バッテリーセパレーター事業の会社分割 (簡易吸収分割) による当社完全子会社への承継および当該当社完全子会社株式の譲渡に関するお知らせ
2021年9月3日	世界初、水素エネルギーによる建築用ガラスの製造実験に成功
2021年10月4日	抗菌・抗ウイルス膜付きガラス NSG Purity™ページを公開しました
2021年10月8日	カナダの事業所にNSGグループ初の蓄電システムを設置
2021年10月25日	Cohda社と共同で未来的な導電ガラスアプリケーションを製作

**NSG**

**GROUP**